

Tuuli

2009年3月16日発行

奈良 東大寺のお水とりのニュースは、同時に春の訪れを感じさせてくれます。ボランティアの皆様にはいつも至誠ホームをご支援いただきありがとうございます。先月至誠ホームでは利用者や職員の間で風邪が流行し、ボランティアの皆様には大変ご心配をおかけいたしました。お陰様で終息いたしました。まずはその報告をさせていただきます。



特養支援室より 協力のお礼と今後に向けて



ボランティアの皆様にはいつもご支援をいただき大変感謝しております。

2月に入ってから特養内で嘔吐や下痢を主症状とする感染症が発生いたしました。そのため、活動及びお年寄りが交差する移動を制限させていただくことになり、急遽活動の中止をお願いするなど、大変ご迷惑をおかけいたしました。

その結果、ボランティアの皆様や関係各所の協力をもちまして無事に終息し、2月23日より通常通りの生活に戻ることになりました。本当にありがとうございました。

特養ではひとたび感染症が発生した場合、弱い方が大勢入所しているため容易に拡大する可能性があり、発生時には速やかに対応をとらなければならない事情があります。インフルエンザのように、市中で流行するような感染症は侵入を防ぐことは大変難しいのが現状です。従って、発生時は拡大を防ぐことが最優先となります。また、近年では季節に関わらず感染症の発生がみられるようになっていきますので、年間を通じて対策の必要が高まっています。

ボランティアの皆様におかれましても、感染症発生時は今回のご協力をいただくことがあるのと同時に、ご自身の健康管理に十分留意して頂きますようお願いいたします。それが、自分自身を守ることとお年寄りを守ることに繋がるからです。

今後とも引き続き変わらぬご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

(至誠特別養護老人ホーム 副園長 鈴木篤)



ボランティア活動の紹介



先月号でお知らせしましたとおり至誠ホームのボランティアさんがコミュニティ奨励賞を受賞なさいました。今月号ではそのお一人の大島さんの配食ボランティアについてご紹介いたします。

ふれあい夕ごはんは平成10年に立川市の委託事業として始まりました。今は至誠ホームの独自事業です。買い物や食事の支度が困難な地域の高齢者に一食600円で温かい夕飯をお届けしています。基本的には月・水・金の週3回です。

ボランティアさんの仕事は詰め合わせと配達があります。栄養士のたてたバランスの良い献立を調理士が調理をし、ボランティアさんが真心込めて詰め合わせをしてくださいます。それを安否確認をかねてご自宅にお届けします。ごはんの大盛り、小盛り、おかゆなど柔軟に対応しています。大島さんは平成10年からボランティアで詰め合わせ、配達を担当してくださっています。利用者からの“美味しいよ。ありがとう。”の声が何よりの励みだとのこと。



栄養室より



ふれあい夕ごはんの人気メニューの赤のご飯をご紹介します。毎月1日、15日にお届けしています。お赤飯と違い工夫しているところは100%もち米ではないので食べやすくまた硬くなりにくいという点です。どうぞお試しください。

赤のごはん

材料:1合分

精白米 110g(1合カップの8分目程度)

もち米 30g(1合カップの2分目程度)

小豆(乾燥) 15g(大匙1 1/2杯)

塩 0.8g(2本指でつまむ程度)



作り方

1. 米は洗い、水を切っておく。

2. 小豆は沸騰する手前で弱火にし、ゆで汁に色を出し、ボールにあげ冷ます。

3. 小豆は再度水を加え八分程度まで柔らかくなるまで煮て、ざるにあげ、冷ましておく。

4. 炊飯器で2のゆで汁を使って塩を入れ、小豆を入れて普通の水加減で炊く。



ボランティアコーナーからのお知らせ



塙真由美です。短い間でしたが、Vコーディネーターとして充実した1年を過ごすことができ、ボランティアさんへは感謝の気持ちで一杯です。4月からは至誠キートンホームへの異動となりますが、又遊びに伺いますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



4月からVコーナーに配属になります齋藤佐代子です。皆様に色々教えていただきながら頑張っていきたいと思います。わが息子はこの春小学校1年生になります。親子共々新しいところでのスタートです。よろしくお願いいたします。

発行 | 社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホーム 統括事務局企画調整 ボランティア担当

連絡先

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 Tel:042-527-0035 Fax:042-527-2646

E-mail: shisei-volunteer@shisei.or.jp HP: <http://www.shisei.or.jp>